

令和5年度 甲府市立城南中学校 学校評価






学校評価について

今年度の学校評価は、昨年度のものから大幅に変更した。まず、各項目を校長の示す学校教育目標および学校経営方針に基づき、【領域Ⅰ 学校運営】【領域Ⅱ 学校教育目標】【領域Ⅲ 学校生活】【領域Ⅳ 家庭・地域との連携】の4領域から構成した。そして、「生徒」「保護者」「教職員」の項目を統一して、結果を比較し、分析を行う方法に変更した。学校評価の目的は、「教育活動や学校運営の改善を図っていくこと」であるので、アンケート結果からそれぞれが同じ項目をどのように捉えているかを分析し、次年度の学校運営の目標設定を行い、教育活動の改善に活かしていきたい。

評価方法の概要

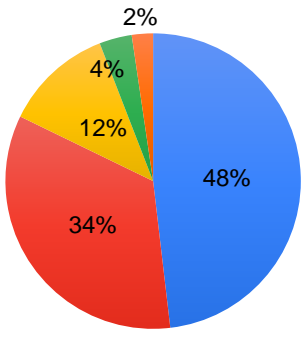
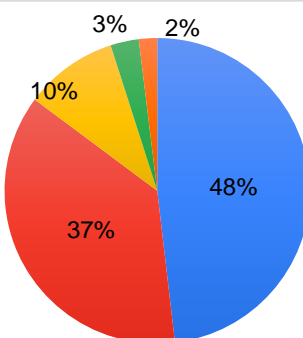
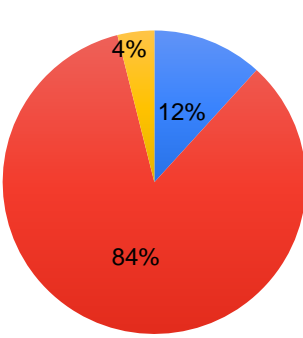
実施時期	令和5年11月末	
実施対象	生徒	646名
	保護者	567名
	教職員	51名
調査内容	生徒アンケート	4領域26項目
	保護者アンケート	4領域27項目
	教職員自己評価	4領域27項目

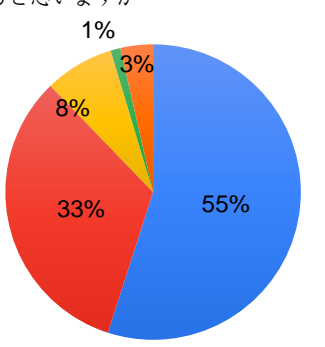
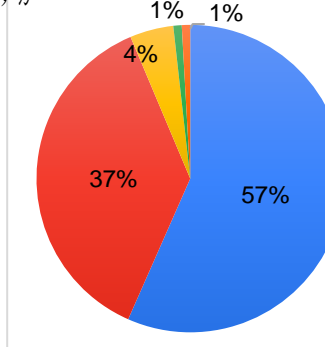
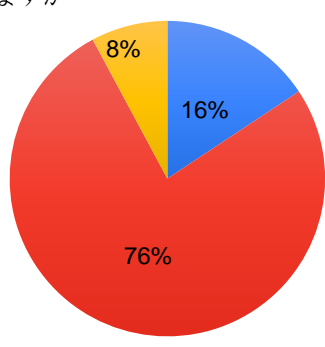
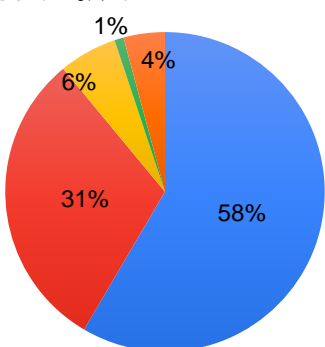
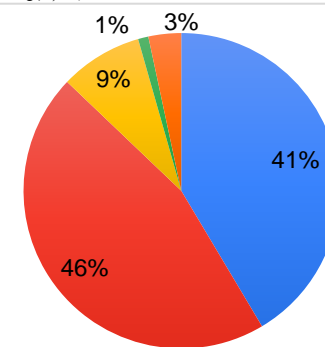
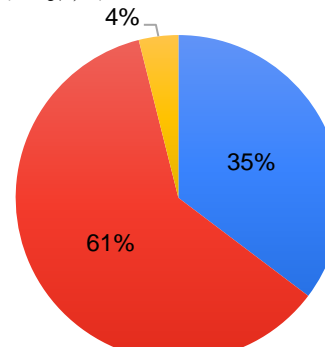
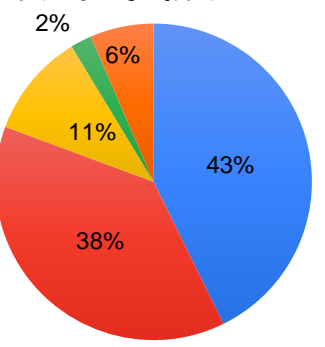
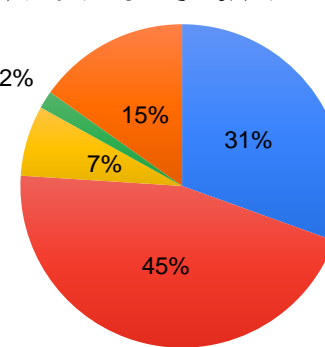
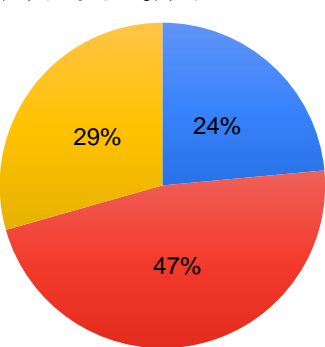
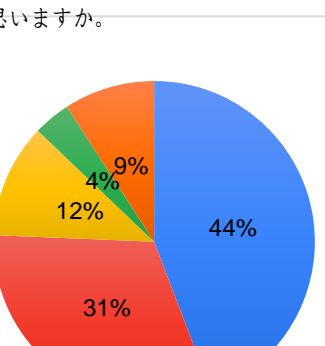
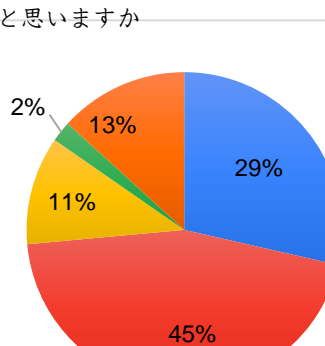
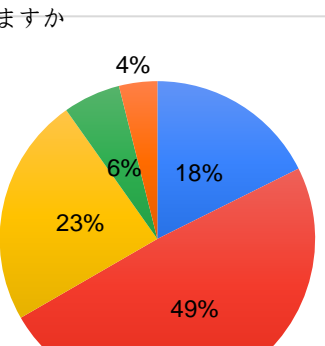
アンケート結果の見方

	4とてもそう思う
	3いくらかそう思う
	2あまりそう思わない
	1まったくそう思わない
	0わからない

学校評価アンケート集計結果と分析

【領域1】学校運営

	生徒	保護者	教職員
1	<p>あなたは、学校へ楽しく通学していますか</p> 	<p>お子さんは、学校へ楽しく通学していますか</p> 	<p>生徒は学校に楽しく通学していますか</p> 

2	<p>あなたは、心身ともに健やかに成長していると思いますか</p> 	<p>お子さんは、心身ともに健やかに成長していますか</p> 	<p>生徒は、心身ともに健やかに成長していますか</p> 
3	<p>学校は、みなさんの健康面や安全面に気を配っていますか</p> 	<p>学校は、生徒の健康面や安全面に配慮していますか</p> 	<p>学校は、生徒の健康面や安全面に配慮していますか</p> 
4	<p>学校は、環境美化や施設・設備の改善に取り組んでいると思いますか</p> 	<p>学校は、環境美化や施設・設備の改善に取り組んでいると思いますか</p> 	<p>学校は、環境美化や施設・設備の改善に取り組んでいますか</p> 
5	<p>先生は、同じ方針で協力し、指導していると思いますか。</p> 	<p>教師は、同じ方針で協力し、指導していると思いますか</p> 	<p>教師は、同じ方針で協力し、指導していますか</p> 

【領域Ⅰ】学校運営についての考察

※各項目のパーセンテージは「4とてもそう思う」「3そう思う」を足したもの

学校運営については、それぞれの評価項目が7割以上の概ねよしとする回答であった。生徒のためにという方向性が、教職員と保護者の間でしっかり共有できた結果だと捉えることができる。

特に、「楽しさ」「健やかさ」「健康・安全」面での評価に高い数値が見られた。今後も、生徒が安全に生活できる環境の維持、さらなる施設・設備の改善を継続しながら、学校を楽しみ、学校に期待しながら通学できる学校づくりを念頭に置くようにしたい。

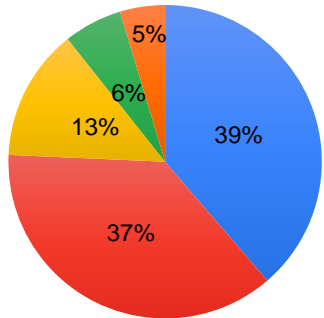
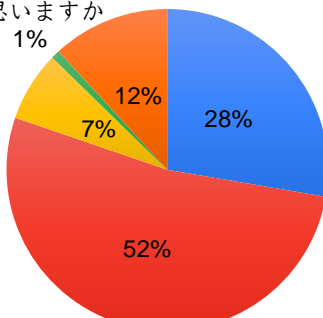
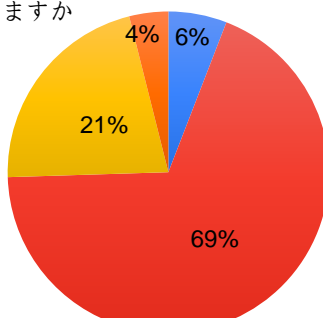
○項目3「学校は生徒の健康面や安全面に配慮していますか」 生徒 89% 保護者 87% 教職員 96%

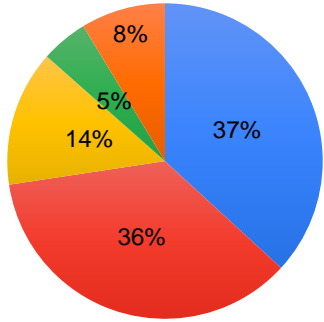
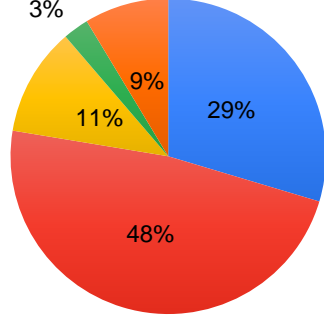
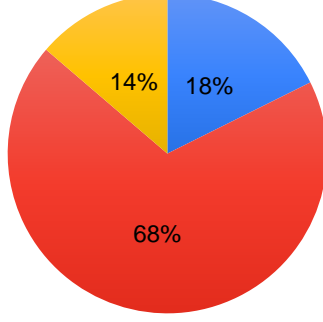
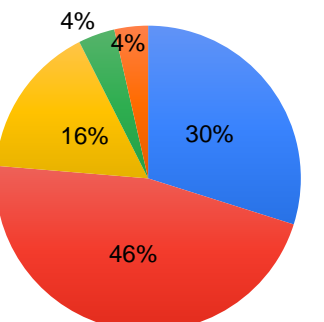
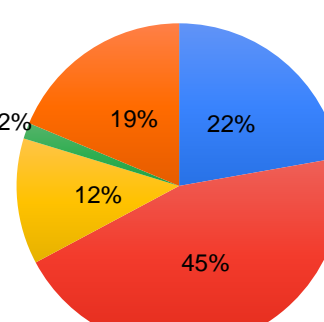
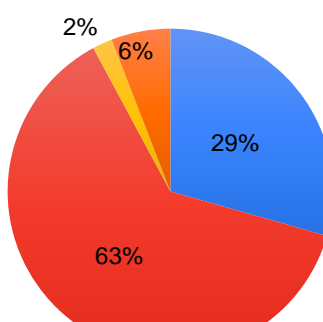
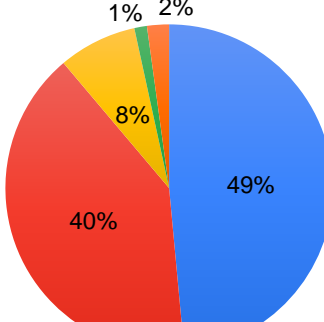
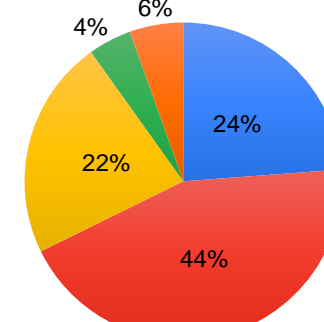
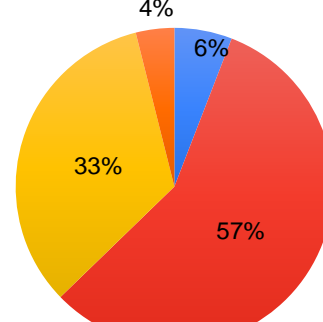
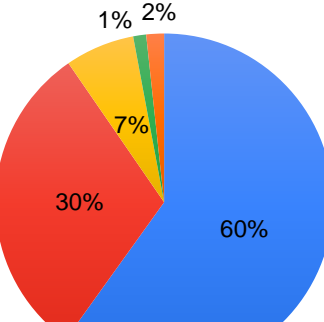
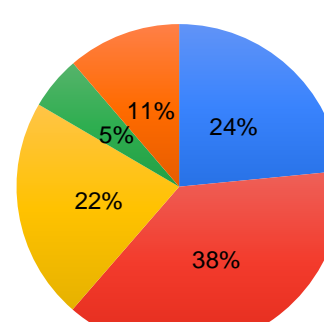
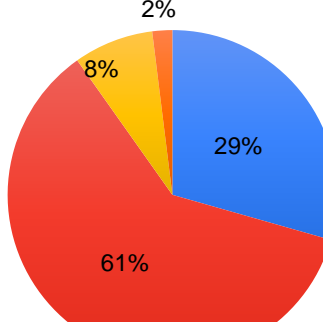
生徒・保護者・教職員ともに高い数値を示している。今年度も新型コロナウイルスが5類になったとはいえ、新型コロナウイルスやインフルエンザの流行に伴い、学級閉鎖や行事の延期を余儀なくされた。できる限り教育活動を行いながら、学校で可能な感染対策については日常的に行い、生徒の健康面の配慮を継続していきたい。

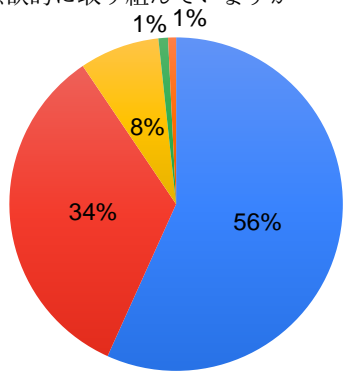
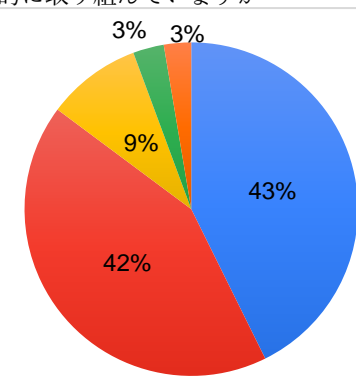
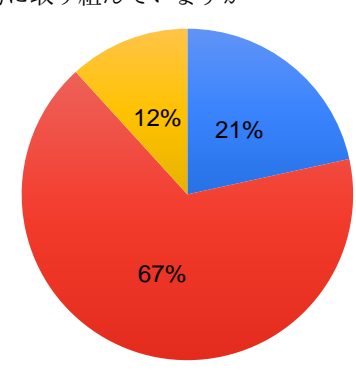
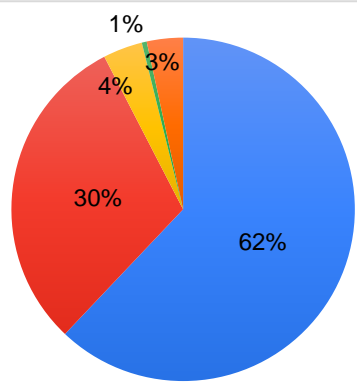
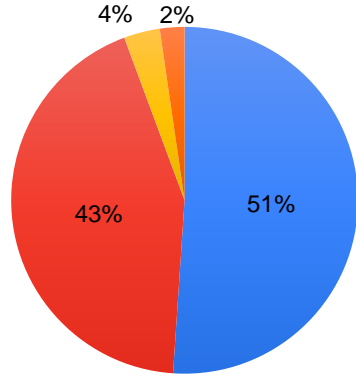
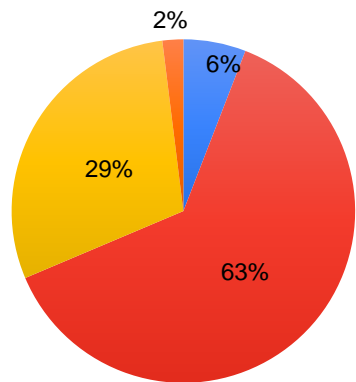
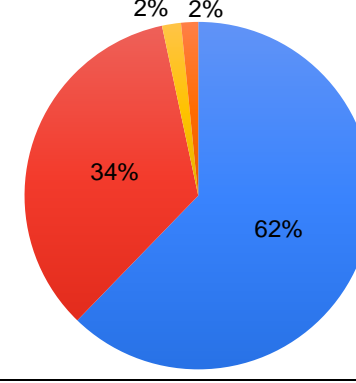
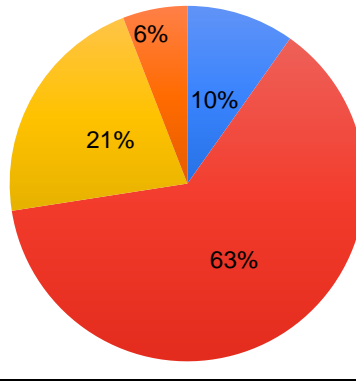
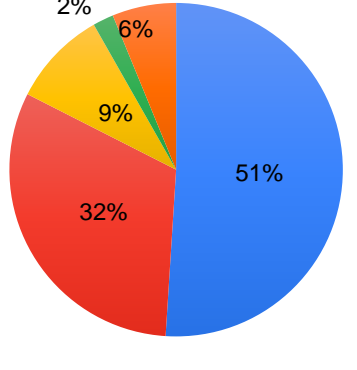
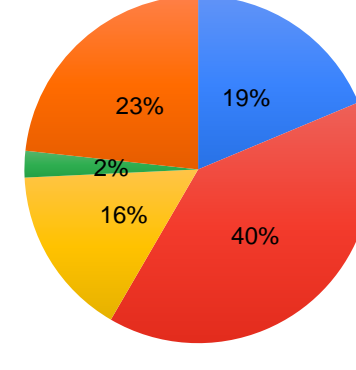
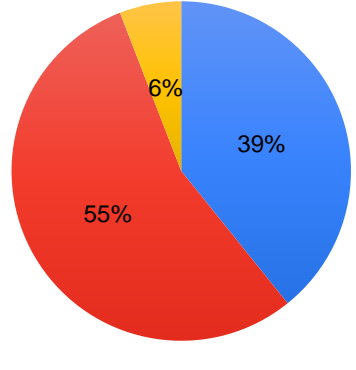
○項目5「教職員は同じ方針で指導していますか」 生徒 75% 保護者 74% 教職員 67%

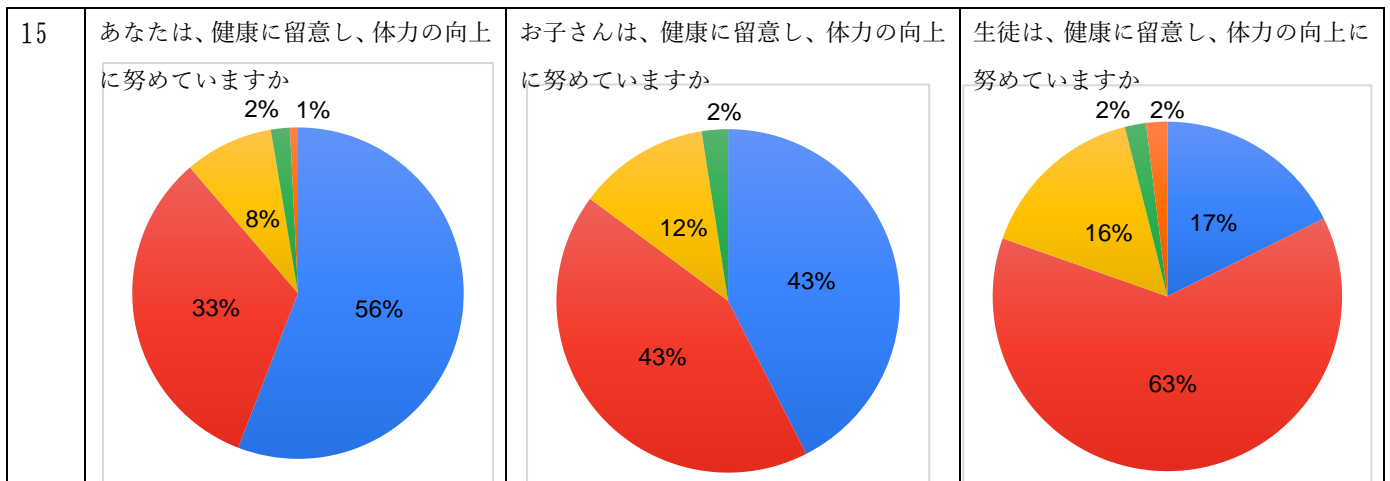
概ねよしとする結果ではあるが、生徒に対する指導方針としては高い数値がほしい項目ではある。教職員個々の意識の向上が望まれる。本校は大規模校であり、職員間での共通理解や指導方法を統一することは大変重要である。また、教師によって指導方針が異なることは生徒の混乱を招くことも考えられる。今後もよりよい教育活動を行っていくために、企画会議等での決定事項を共有し、それが実践され続けているかという視点も含め、その都度確認する必要がある。それぞれの担当のリーダーシップに期待をしたい。機会のあるごとに、確認を繰り返すこと、大切なことをおろそかにしないための工夫、指導方針の学習会の開催等を対策として考えたい。

【領域Ⅱ】学校教育目標

	生徒	保護者	教職員
6	<p>あなたは、学校の先生方を信頼していますか</p> 	<p>学校は、保護者や地域から信頼されていると思いますか</p> 	<p>学校は、保護者や地域から信頼されていますか</p> 

<p>7</p>	<p>先生は、みなさんのことをよく理解し、指導していると思いますか</p> 	<p>教師は、生徒のことをよく理解し、指導していると思いますか</p> 	<p>教師は、生徒のことをよく理解し、指導していますか</p> 
<p>8</p>	<p>学校の授業は、楽しくわかりやすいですか</p> 	<p>教師は、楽しくわかりやすい授業に努めていると思いますか</p> 	<p>教師は、楽しくわかりやすい授業に努めていますか</p> 
<p>9</p>	<p>あなたは、授業に集中し、進んで学ぶように努めていますか</p> 	<p>お父さんは、授業に集中し、基礎学力を身に付けていると思いますか</p> 	<p>生徒は、授業に集中し、基礎学力を身に付けていますか</p> 
<p>10</p>	<p>あなたは、学習にクロームブックを効果的に活用していますか</p> 	<p>お父さんは、学習にクロームブックを効果的に活用していると思いますか</p> 	<p>教師は、学習に ICT 活用を効果的に進めていますか</p> 

11	<p>あなたは、学校行事や生徒会活動に意欲的に取り組んでいますか</p> 	<p>お父さんは、学校行事や生徒会活動に意欲的に取り組んでいますか</p> 	<p>生徒は、学校行事や生徒会活動に意欲的に取り組んでいますか</p> 
12	<p>あなたは、思いやりの気持ちをもって他人に接していますか</p> 	<p>お父さんには、他人への思いやりの心が育っていると思いますか</p> 	<p>生徒には、他人への思いやりの気持ちが育っていますか</p> 
13	<p>あなたは、命を大切にしていますか</p> 	<p>お父さんには、命を大切にしようとする心が育っていると思いますか</p> 	<p>生徒には、命を大切にしようとする気持ちが育っていますか</p> 
14	<p>学校は生徒同士の人間関係がよくなるために努力をしていますか</p> 	<p>学校は、いじめの未然防止や、早期発見・早期対応に努めていると思いますか</p> 	<p>教師は、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に努めていますか</p> 



【領域Ⅱ】 学校教育目標についての考察

※各項目のパーセンテージは「4とてもそう思う」「3そう思う」を足したもの

学校教育目標については、概ねよしとする回答が多かった。特に、学校行事、生徒会活動、命あるものへの向き合い方に関する取組に高い数値が見られた。

○項目 8 「教師は、楽しくわかりやすい授業に努めていると思いますか」 生徒 86% 保護者 68%
教職員 92%

生徒の感じ方を尊重する中で「楽しく、わかりやすい」授業づくりを目指し、引き続き校内研究会を活用しながら授業改善に努めたい。

○項目 9 「生徒は授業に集中し、基礎学力を身に付けていますか」 生徒 89% 保護者 68% 教員 63%
生徒の自己評価が突出して高く、保護者・教員は低い。2と1が保護者（26%）・教員（33%）である。学習の定着に対する個人差はあるが、多くの生徒が基礎学力の定着を図れる指導の工夫を行っていく必要がある。また、学年で定期テスト前に行っている「学習相談」なども積極的活用を行うように勧めていきたい。

○項目 10 「生徒は学習にクロームブックを効果的に活用していますか」 生徒 90% 保護者 62%
教職員 90%

今年度、授業におけるクロームブックの活用は、さらに進化している。多くの教員が授業の中で効果的な活用をしている。さらに、学校、生徒会行事等でのクロームブック活用の実績を積極的に保護者に伝えることが必要である。学校便り、ホームページ等をさらに活用し、城南中学校の先進的な生徒の情報活用能力向上のための取組をPRしていく必要がある。また、家庭学習に活用保護者の記述などからも、家庭学習の有効利用と情報モラル教育の重要性を感じる。今後クロームブック活用が進んでいく中で、学校と家庭で協力しながら取り組んでいく必要がある。

○項目 12 「生徒には思いやりの心が育っていますか」 生徒 92% 保護者 84% 教員 69%

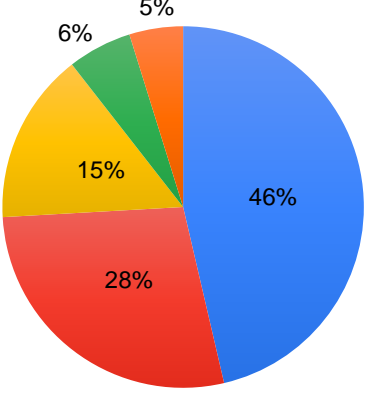
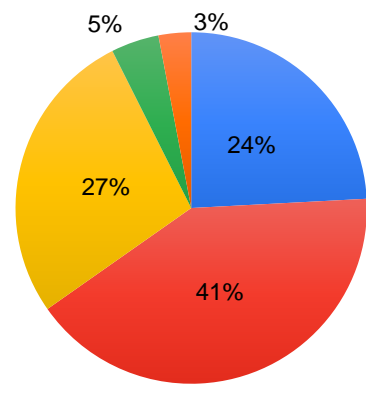
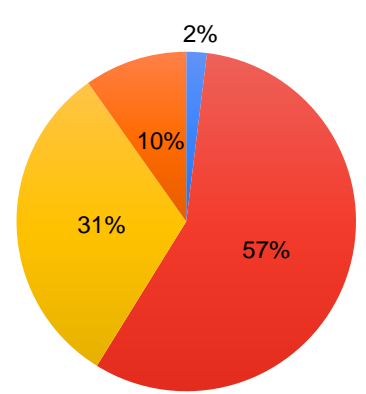
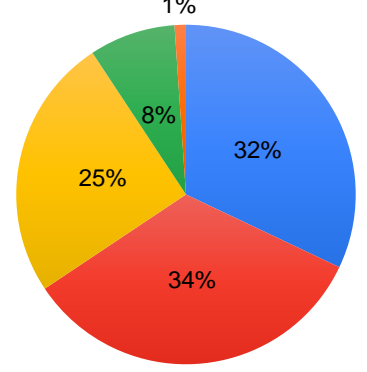
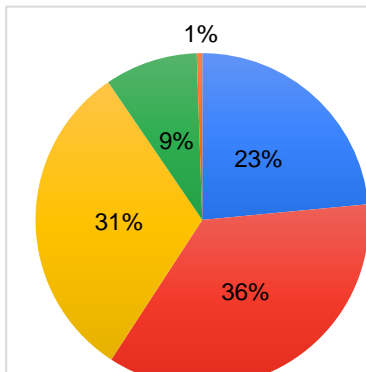
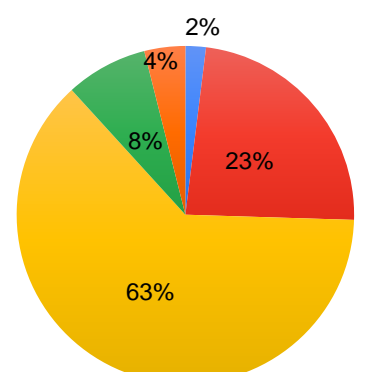
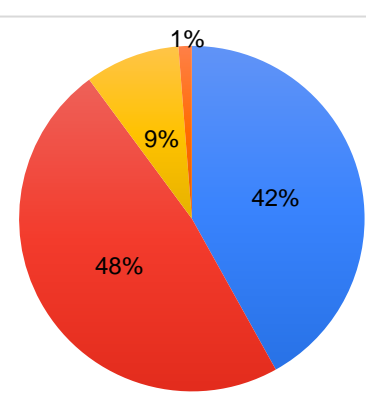
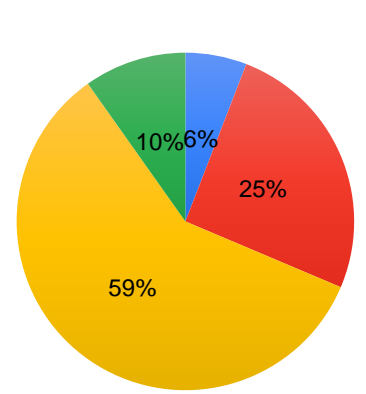
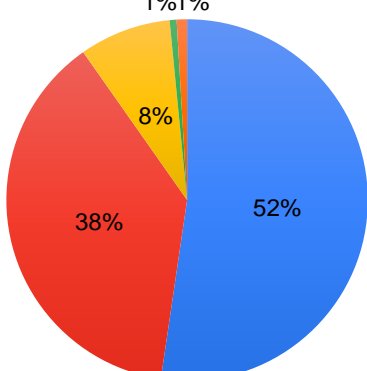
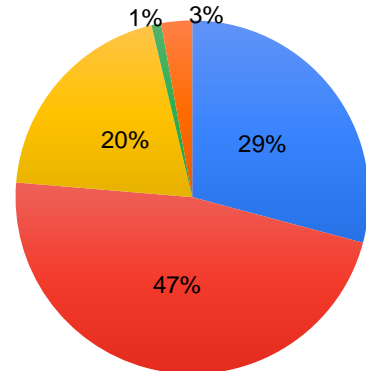
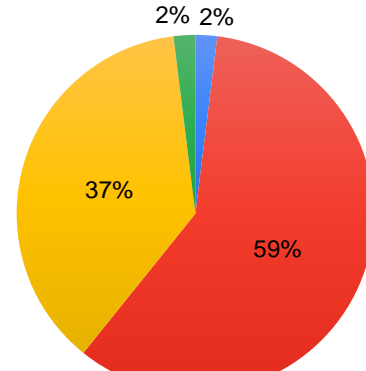
生徒・保護者に対し、教員の数値は乖離している。家庭で見ている子どもの姿と集団の中で他人と関わる子どもの姿には相違があるかもしれない。新型コロナウイルスの感染拡大によって行事などが縮小され、生徒同士の関係も希薄になってしまったことも要因と考えられる。学校という公の場、学年集団、学級には関係の薄い他者の存在が当然ある。そういった他者との交流の中で、思いやりの心を育むために、道徳科の授業のさらなる充実、家庭、地域、学校運営協議会にも協力を求め、体験活動を活発にしていくことも考えたい。

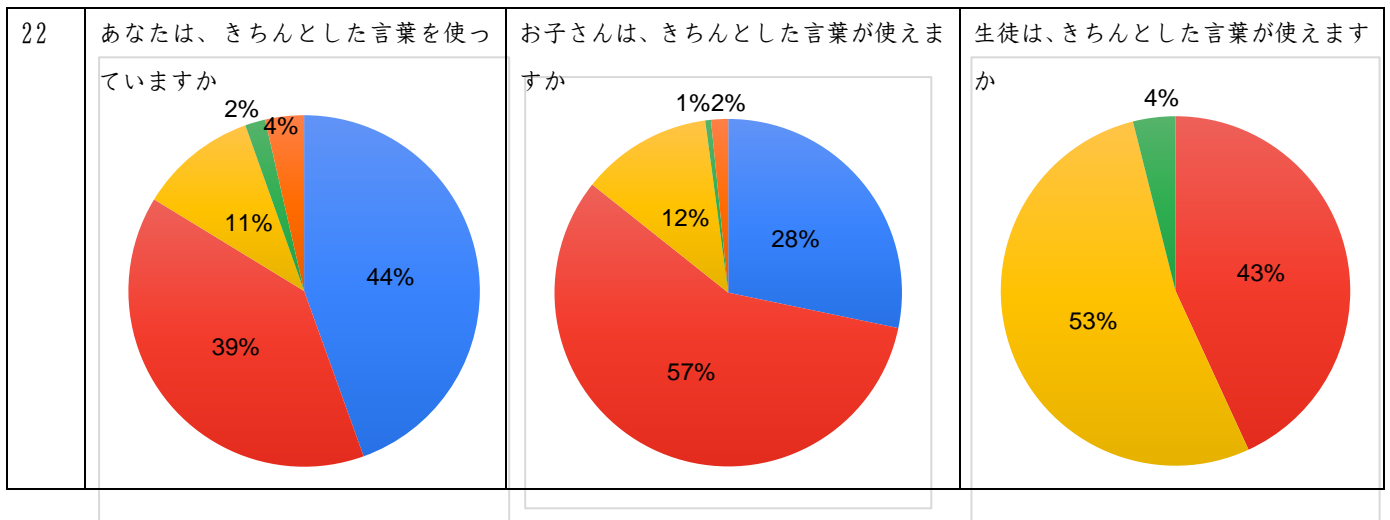
○項目 14「学校はいじめの未然防止や早期発見・早期対応に努めていますか」生徒 83% 保護者 59%
教職員 94%

保護者の 23%が「わからない」と回答していることから、学校の取組を保護者に伝える工夫をする必要があると思われる。積極的にホームページや各種通知等を活用し、学校の取組を保護者に伝えることを行いたい。また、PDCA サイクルの視点から本校が行っているいじめ対応策の改善を行う。今年度の取組を再確認し、さらにより取組にするために改善をしつづける意識をもちたい。生徒が集団生活を送っていれば、人間関係のトラブルなども起こるが、未然防止・早期発見・早期対応に努め、生徒が安心して過ごせる学級・学年づくりを行いたい。

【領域Ⅲ 学校生活】

	生徒	保護者	教職員																																		
16	<p>あなたは基本的な生活のルールやマナーが身に付いていると思いますか</p> <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>62%</td></tr> <tr><td>No</td><td>31%</td></tr> <tr><td>Not sure</td><td>4%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>1%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>2%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	62%	No	31%	Not sure	4%	Other	1%	Other	2%	<p>お子さんには、基本的な生活習慣が身に付いていると思いますか</p> <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>39%</td></tr> <tr><td>No</td><td>47%</td></tr> <tr><td>Not sure</td><td>11%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>2%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>1%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	39%	No	47%	Not sure	11%	Other	2%	Other	1%	<p>生徒には、基本的な生活のルールやマナーが身に付いていますか</p> <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>49%</td></tr> <tr><td>No</td><td>45%</td></tr> <tr><td>Not sure</td><td>4%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>2%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	49%	No	45%	Not sure	4%	Other	2%
Response	Percentage																																				
Yes	62%																																				
No	31%																																				
Not sure	4%																																				
Other	1%																																				
Other	2%																																				
Response	Percentage																																				
Yes	39%																																				
No	47%																																				
Not sure	11%																																				
Other	2%																																				
Other	1%																																				
Response	Percentage																																				
Yes	49%																																				
No	45%																																				
Not sure	4%																																				
Other	2%																																				
17	<p>あなたは、自分で考え、すすんで行動していますか</p> <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>46%</td></tr> <tr><td>No</td><td>39%</td></tr> <tr><td>Not sure</td><td>10%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>1%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>4%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	46%	No	39%	Not sure	10%	Other	1%	Other	4%	<p>お子さんは、自分で考え、すすんで行動していると思いますか</p> <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>29%</td></tr> <tr><td>No</td><td>47%</td></tr> <tr><td>Not sure</td><td>21%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>1%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>2%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	29%	No	47%	Not sure	21%	Other	1%	Other	2%	<p>自分で考え、すすんで行動する生徒が育っていますか</p> <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>53%</td></tr> <tr><td>No</td><td>45%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>2%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	53%	No	45%	Other	2%		
Response	Percentage																																				
Yes	46%																																				
No	39%																																				
Not sure	10%																																				
Other	1%																																				
Other	4%																																				
Response	Percentage																																				
Yes	29%																																				
No	47%																																				
Not sure	21%																																				
Other	1%																																				
Other	2%																																				
Response	Percentage																																				
Yes	53%																																				
No	45%																																				
Other	2%																																				

18	<p>あなたは、夢や目標をもって学校生活を送っていますか</p>  <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>46%</td></tr> <tr><td>No</td><td>28%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>15%</td></tr> <tr><td>Unsure</td><td>6%</td></tr> <tr><td>Refuse</td><td>5%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	46%	No	28%	Other	15%	Unsure	6%	Refuse	5%	<p>お子さんは、夢や目標をもって学校生活を送っていると思いますか</p>  <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>41%</td></tr> <tr><td>No</td><td>27%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>24%</td></tr> <tr><td>Unsure</td><td>5%</td></tr> <tr><td>Refuse</td><td>3%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	41%	No	27%	Other	24%	Unsure	5%	Refuse	3%	<p>生徒は、夢や目標をもって学校生活を送っていますか</p>  <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>57%</td></tr> <tr><td>No</td><td>31%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>10%</td></tr> <tr><td>Unsure</td><td>2%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	57%	No	31%	Other	10%	Unsure	2%		
Response	Percentage																																						
Yes	46%																																						
No	28%																																						
Other	15%																																						
Unsure	6%																																						
Refuse	5%																																						
Response	Percentage																																						
Yes	41%																																						
No	27%																																						
Other	24%																																						
Unsure	5%																																						
Refuse	3%																																						
Response	Percentage																																						
Yes	57%																																						
No	31%																																						
Other	10%																																						
Unsure	2%																																						
19	<p>あなたは、家庭学習に取り組んでいますか</p>  <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>32%</td></tr> <tr><td>No</td><td>34%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>25%</td></tr> <tr><td>Unsure</td><td>8%</td></tr> <tr><td>Refuse</td><td>1%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	32%	No	34%	Other	25%	Unsure	8%	Refuse	1%	<p>お子さんは、家庭学習に取り組んでいますか</p>  <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>36%</td></tr> <tr><td>No</td><td>31%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>23%</td></tr> <tr><td>Unsure</td><td>9%</td></tr> <tr><td>Refuse</td><td>1%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	36%	No	31%	Other	23%	Unsure	9%	Refuse	1%	<p>生徒は、家庭学習に取り組んでいますか</p>  <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>63%</td></tr> <tr><td>No</td><td>23%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>8%</td></tr> <tr><td>Unsure</td><td>4%</td></tr> <tr><td>Refuse</td><td>2%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	63%	No	23%	Other	8%	Unsure	4%	Refuse	2%
Response	Percentage																																						
Yes	32%																																						
No	34%																																						
Other	25%																																						
Unsure	8%																																						
Refuse	1%																																						
Response	Percentage																																						
Yes	36%																																						
No	31%																																						
Other	23%																																						
Unsure	9%																																						
Refuse	1%																																						
Response	Percentage																																						
Yes	63%																																						
No	23%																																						
Other	8%																																						
Unsure	4%																																						
Refuse	2%																																						
20	<p>あなたは、あいさつをしっかりとしていますか</p>  <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>67%</td></tr> <tr><td>No</td><td>26%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>6%</td></tr> <tr><td>Unsure</td><td>1%</td></tr> <tr><td>Refuse</td><td>0%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	67%	No	26%	Other	6%	Unsure	1%	Refuse	0%	<p>お子さんは、あいさつがしっかりとできていますか</p>  <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>42%</td></tr> <tr><td>No</td><td>48%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>9%</td></tr> <tr><td>Unsure</td><td>1%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	42%	No	48%	Other	9%	Unsure	1%	<p>生徒は、あいさつがしっかりとできていますか</p>  <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>59%</td></tr> <tr><td>No</td><td>25%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>10%</td></tr> <tr><td>Unsure</td><td>6%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	59%	No	25%	Other	10%	Unsure	6%				
Response	Percentage																																						
Yes	67%																																						
No	26%																																						
Other	6%																																						
Unsure	1%																																						
Refuse	0%																																						
Response	Percentage																																						
Yes	42%																																						
No	48%																																						
Other	9%																																						
Unsure	1%																																						
Response	Percentage																																						
Yes	59%																																						
No	25%																																						
Other	10%																																						
Unsure	6%																																						
21	<p>あなたは、人の話をしっかりと聞いていますか</p>  <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>52%</td></tr> <tr><td>No</td><td>38%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>8%</td></tr> <tr><td>Unsure</td><td>1%</td></tr> <tr><td>Refuse</td><td>1%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	52%	No	38%	Other	8%	Unsure	1%	Refuse	1%	<p>お子さんは、人の話をしっかりと聞いていますか</p>  <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>47%</td></tr> <tr><td>No</td><td>29%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>20%</td></tr> <tr><td>Unsure</td><td>1%</td></tr> <tr><td>Refuse</td><td>3%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	47%	No	29%	Other	20%	Unsure	1%	Refuse	3%	<p>生徒は、人の話をしっかりと聞いていますか</p>  <table border="1"> <tr><th>Response</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>Yes</td><td>59%</td></tr> <tr><td>No</td><td>37%</td></tr> <tr><td>Other</td><td>2%</td></tr> <tr><td>Unsure</td><td>2%</td></tr> </table>	Response	Percentage	Yes	59%	No	37%	Other	2%	Unsure	2%		
Response	Percentage																																						
Yes	52%																																						
No	38%																																						
Other	8%																																						
Unsure	1%																																						
Refuse	1%																																						
Response	Percentage																																						
Yes	47%																																						
No	29%																																						
Other	20%																																						
Unsure	1%																																						
Refuse	3%																																						
Response	Percentage																																						
Yes	59%																																						
No	37%																																						
Other	2%																																						
Unsure	2%																																						



【領域Ⅲ】 学校生活についての考察

※各項目のパーセンテージは「4とてもそう思う」「3そう思う」を足したもの

この領域に関しては、平均的に生徒の自己評価は高く、教員の評価が低めである。ここ数年、新型コロナウイルス感染拡大により学校行事が中止や縮小傾向になった。今年度は以前の状態に戻りつつあるが、一度途切れてしまった学校の文化を以前と同じ状態にまでにするには時間がかかる。以前の教育活動を知っている教員からすると、「もっとできるのでは…」という思いから評価が低めになっているのではないかと分析する。それに対して、生徒の学校生活への満足度はある程度はあると思われる。さらに、教育課程の見直しを行い、生徒に身に付けさせていきたい力を明らかにし、取組を行っていきたい。

○項目 18「生徒は夢や目標を持って学校生活を送っていますか。」生徒 74% 保護者 65% 教職員 59%

生徒が生きる時代は予測困難な時代だと言われるが、明るい未来への希望を語ることで送ってほしいとの願いは、保護者も教職員も同じ思いであろう。大人には見える現実があるが、生徒が夢や目標を語る際は、大きな肯定感をもってその言葉を聞いてあげたい。実現に向けて努力する心を育ててあげられるよう、思いを共有することが大切である。

○項目 19「生徒は家庭学習に取り組んでいますか」 生徒 66% 保護者 59% 教職員 25%

他の項目に比べ全体的に評価が低い。しかし、生徒、保護者の数値を見ると、ある程度は家庭学習に取り組んでいる自覚があるように見える。教職員との評価の差は、その取組内容にあるのかもしれない。より丁寧に、家庭学習のやり方指導、内容指導をしたり、取り組むことができない生徒へのきめ細かな指導をしたりすることも必要なのだろう。

この項目は、全国学力学習状況調査で同様の質問においても3年生の評価が低く、本校の課題でもある。各教科担任が、現状を整理し、分析し、対応策を考えることを行う必要があると思われる。今後、各教科や学年で生徒が日常的にできる課題について検討し、学習習慣を身に付けさせていく取組が必要である。

○項目 20「生徒はあいさつがしっかりできていますか」 生徒 93% 保護者 90% 教職員 31%

この数値は、身近な者同士では挨拶ができていますが、そうではない関係の場合にはできていないと捉えることができるように思う。学校内での生徒の姿の数値を考えると、生徒同士のコミュニケーションや、つながりが薄い関係の他者同士間での挨拶ができていないのではないだろうか。関係が密になればなるほど、挨拶はその関係を再確認する手段として必要不可欠なものでもあり、新たに関係を構築するための第

一歩でもある。道徳等、日常の機会も捉えながら、継続した指導を粘り強く行ったり、生徒会、学年生徒会などで効果的な取組を行ったりすることにも期待したい。

○項目 21 「人の話をしっかり聞いていますか。」 生徒 90% 保護者 76% 教職員 61%

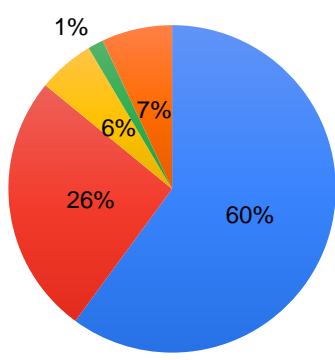
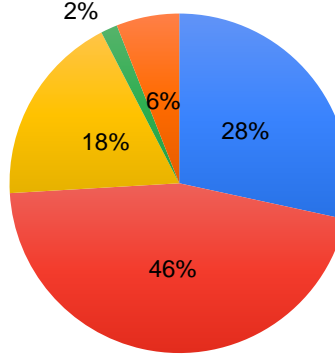
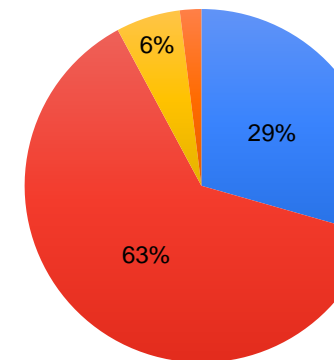
言語学習の「話すこと」「読むこと」「書くこと」「聞くこと」の四分野の中で、授業実践研究が遅れているのが「聞く」という分野であり、音声というその場で消えてしまうものの言語のインプットを、瞬時に理解しないとならないという難しい作業なだけに、全校組織での取組が必要であると考え。聞き取り、理解ができているのかを確認するという一手間を取り入れたい。

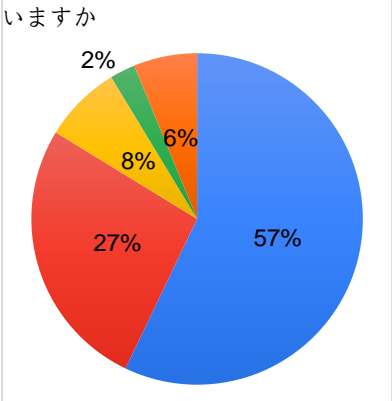
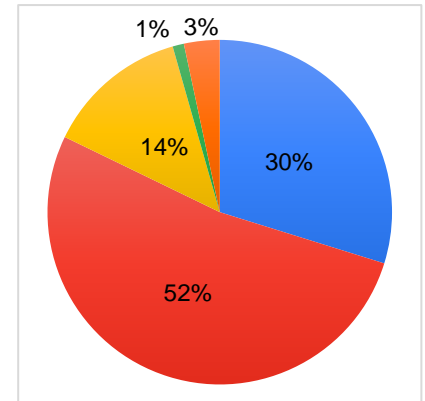
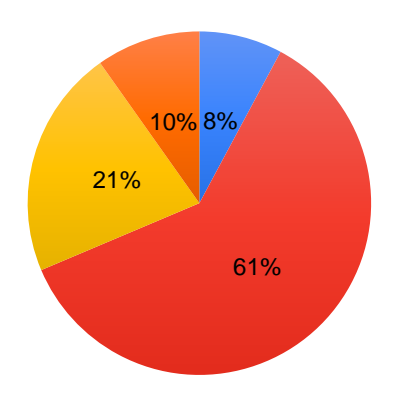
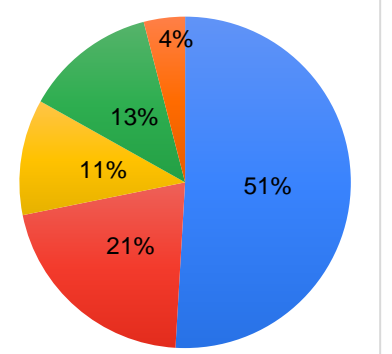
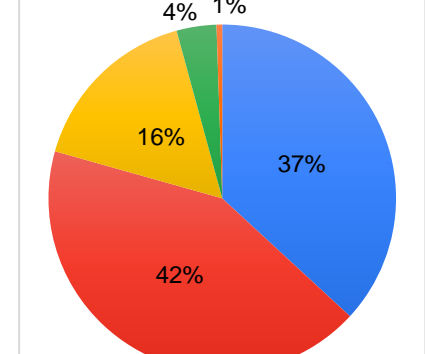
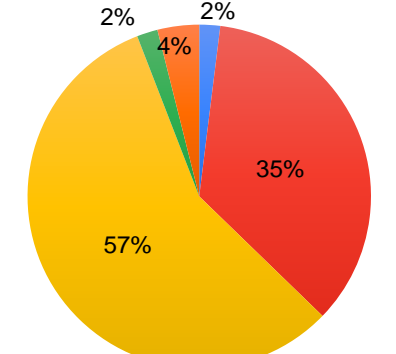
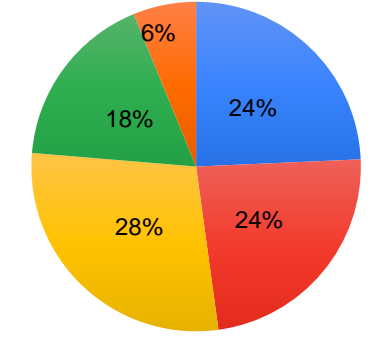
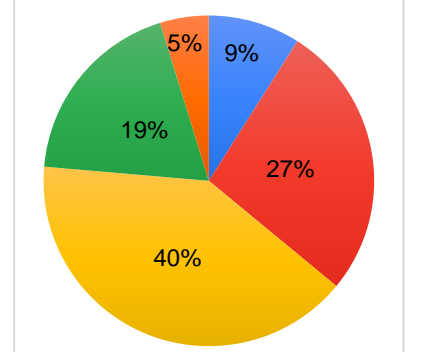
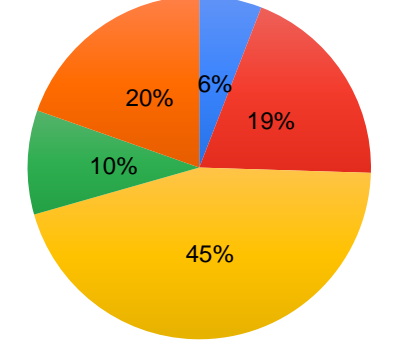
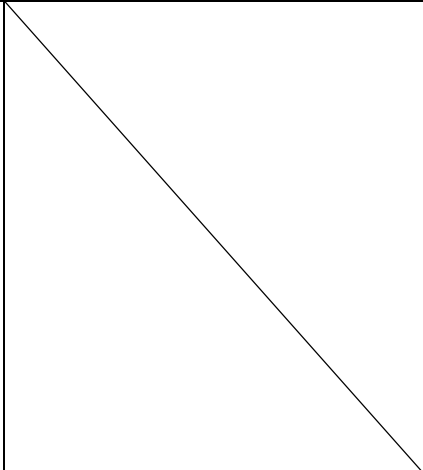
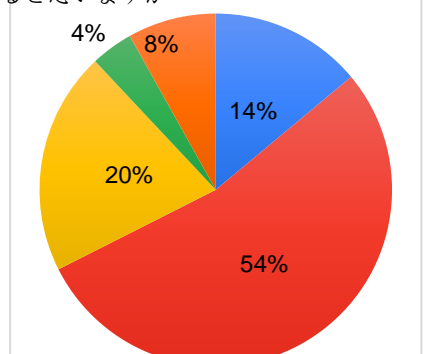
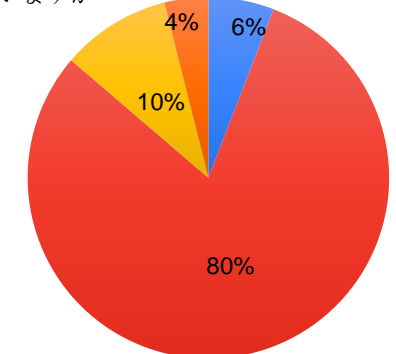
○項目 22 「生徒はきちんとした言葉が使えていますか」 生徒 83% 保護者 85% 教職員 43%

「きちんとした言葉」を定義していないための結果なのかもしれないが、保護者と教職員がそれぞれの場で生徒に求める言葉での「礼節をわきまえる」ことのハードルの差があるように思われる。家庭内ではある程度できており、学校という公の場では、改善の余地があるという結果である。教員が求める言葉遣いは、義務教育を終えた後、社会に出てから通用する敬語を身に付けさせたいという思いもある。敬語という分野に関しては、場の中で使用しながら使い慣れることも必要なので、学校で意図的に設定することも生徒の言語能力の向上には必要である。

また、生徒同士でかけ合う言葉についても、心ない言葉があったり、言葉が原因でトラブルになったりと、教員として気になることがあるのではないかと思う。道徳教育や日常生活の中で、言葉の大切さや重みなどについても指導していきたい。

【領域Ⅳ 家庭・地域との連携】

	生徒	保護者	教職員
23	<p>学校と家庭の連絡が、しっかり取れていると思いますか</p> 	<p>学校と家庭との間で、緊密に連絡が取れていると思いますか</p> 	<p>学校と家庭の連絡が、緊密に取れていますか</p> 

24	<p>お家の方は、学校の勉強や行事の様子を、たより等で理解していると思えますか</p> 	<p>保護者は、たより等で学校の教育活動の様子を、理解していますか</p> 	<p>保護者は、たより等で学校の教育活動の様子を理解していますか</p> 
25	<p>家庭では、ネット利用やスマホ利用についてのルールがありますか</p> 	<p>家庭では、ネット利用やスマホ利用についてのルールがありますか</p> 	<p>生徒は、ネット利用やスマホ利用のルールを理解して使用していますか</p> 
26	<p>あなたは、地域の諸活動に積極的に参加していますか</p> 	<p>お父さんは、地域の諸活動に積極的に参加していますか</p> 	<p>生徒は、地域の諸活動に積極的に参加していますか</p> 
27		<p>保護者は、学校の教育活動に協力していると思いますか</p> 	<p>保護者は、学校の教育活動に協力していますか</p> 

【領域Ⅳ】 家庭・地域との連携についての考察

※各項目のパーセンテージは「4とてもそう思う」「3そう思う」を足したもの

今年度は学校行事やPTA行事もコロナ前の形に戻し、保護者の方に学校に来ていただく機会も増え、学校や生徒の様子を知っていただけたのではないかと思います。質問形式が違うので、昨年度との比較はできないが、学校と家庭との連携については改善傾向にあると考える。多くの保護者の方に学校にご協力いただいたことを感謝し、今後も家庭・地域・学校が共に子どもたちの健全な成長を見守っていききたい。

○項目 24「保護者は、たより等で学校の教育活動の様子を理解していますか」生徒 84% 保護者 82% 教職員 69%

概ね結果は良好である。今年度はHPの定期的な更新を行い、リアルタイムで教育活動を紹介することができた。しかし、この項目についてお便りは紙媒体でなく、メール等でほしいという意見をいくつかいただいた。現在は、紙媒体で配布するものとメール送信をするものを内容で判断しているが、来年度より原則としてメール配信にしていく方向で考えたい。(メリット…保護者の元に確実に届く。印刷する紙の節約。教員の業務改善。デメリット…メールの確認ができていないかわからない)学校の教育活動の様子を知らせ理解と協力を得ることは、開かれた学校づくりという視点からも重要なことなので、保護者が楽しみにして読んでもらえるような内容を工夫することで、改善を考えたい。

○項目 25「家庭ではネットやスマホ利用についてルールがありますか」生徒 72% 保護者 79% 教職員 37%

生徒・保護者ともに7割以上の数値を示しているので、概ね何らか家庭内のルールを設けている家庭があると考えられる。しかし、今年度もいくつかSNS関係のトラブルがあったことも否めない。ネット上のトラブルは、学校内での対人関係トラブルと違い、見えにくく、解決が難しい。学校でも情報モラル教育を進めていかねばならないが、家庭内でも具体的なルールを再確認していただき、ある程度保護者の管理下で使用していくことを徹底していただく。

○項目 26「地域の諸活動に参加していますか」生徒 48% 保護者 36% 教職員 25%

今年度は地域の活動も徐々に戻りつつあるが、回答がばらついている。ある程度参加している生徒もいるのだろうが、全く参加をしていない生徒もいるのであろう。学校体制としては、地域の活動を把握していた範囲で、部活動等を原則中止し、学校関係の活動が原因で地域の行事に参加できなくなるようなことはできるだけ避けるよう心がけた。さまざまな方面から生徒、保護者に働きかけ、地域の活動の活性化に協力したい。

○項目 27「保護者は、学校の教育活動に協力していますか。」保護者 68% 教職員 86%

多くの保護者が協力的に活動に参加してくださっている現状がある。もっともっと、この数値を上げていくために、生徒のための教育活動を中心に、保護者の方々の期待に応えられるような学校づくりを継続していきたい。

学校関係者評価（学校運営協議委員の皆様より）

1 【領域Ⅰ】 学校経営

- ・「楽しい学校生活」「健康安全面」での高い評価は、昨年同様、生徒たちの充実した学校生活の表れと捉えられる。学校生活のあらゆる場面で一人ひとりを大切にして、日々の取組やきめ細かな指導を実践する城南中学校の教育の成果であると推察される。一方、大規模校でのさまざまな指導面の大変さがあると思うが、マイナス評価をしている子どもたちの状況にも配慮を行ってほしい。
- ・「教職員は同じ方向で」の項目で、教職員の評価がやや低いが、大規模校では教職員の共通理解や指導方針を徹底することへの難しさがある一方、学校を運営する教職員の自己改善への前向きな気持ちの表れとも捉えられる。生徒指導上での指導方針や指導内容についての考え方やスキルの違いによる場面で感じる人が多いのではないかと思うので、コミュニケーションをとりチームで対応していくことが重要だと考える。

2 【領域Ⅱ】 学校教育目標

- ・ICTを先進的に活用している学校なので生徒、教師とも高評価を得ている。家庭学習でのクローズドブック活用を進めていくことも必要なのではないか。有効活用と同時にルール、マナーなどモラル教育も必要となっていると思う。
- ・「思いやりの心」「命の大切さ」については、子どもたちを育成する上で、とても大切な事だと思う。最近の子どもたちの状況を見ていると、「知・徳・体」の「徳」の部分が弱くなっているのではないかと感じる。「情操教育部（心の教育）」等の取組を通して、家庭・地域との連携を深め、体験活動をより活発にして、思いやりの心を育てていきたい。

3 【領域Ⅲ】 学校生活

- ・「あいさつ」や基本的な生活習慣については、基本は家庭教育かと思う。保護者・家庭での取組も大切であることを、共通理解する必要があると思う。生徒のアンケート結果であいさつをしている子が90%を超えているのは素晴らしい。多くの生徒は、登下校時、見守り活動でこちらがあいさつをすれば必ず返してくれる。また、地域・住民の間ではあいさつはよくできているとの声も多い。
- ・輝城祭（体育・文化）の両方を見学させてもらったが、各学年、各クラスとも非常によく統制がとれており、かつ生徒同士の協調性も強く認められ、生徒間相互の連携（あいさつも含めて）も醸成されている。
- ・不登校が全国的に増加していることが気になる。どの学校も喫緊の課題である。だんだん子どもたちの学校へ行くというハードルが高くなってきていることを感じる。支援室や市のあすなろ学級などさまざまな選択肢も考えながら、取組が必要である。この問題は本校というより、日本の教育全体の課題として、教員の数を増やし、少人数に対する学習支援などを行っていかねばならないと感じる。

4 【領域Ⅳ】 家庭・地域との連携

- ・ネットやスマホの利用について、現代の生活においてはなしでは済まず、昔では考えられなかった課題である。便利さの反面、ゲーム依存での昼夜逆転や課金、ネット詐欺、SNSでのトラブルなど、思春期の生徒にとって誘惑や虚偽や犯罪にもつながりかねない問題もある。家庭でのルールづくりや教育現場でもルールやマナーなどや危険性への注意喚起が必要である。
- ・地域の育成活動は、今年度は4年ぶりに各行事を計画し行ったが、中学生の参加はほとんど見られないのが残念。（諸行事：子供クラブの祭り、ラジオ体操、地区のスポーツ大会、通学路の清掃等）子どもたちも部活動や習い事で忙しいが、地域で活動する楽しさを教えていきたい。また、周知の仕方を工夫し、参加を促していきたい。
- ・今年度、学校運営協議会で取り組んだ見守り活動は、地域の見守り活動の取組と重ね合わせて、今後とも取組を推し進めていきたい。